

第75期

報 告 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種効果等により回復基調は維持されたものの、新たな変異株の感染拡大もありやや鈍化した動きとなりました。特にサプライチェーンの混乱や生産および物流の停滞、加えて地政学リスクによる原油・エネルギー価格の高騰等インフレ高進と米国の金融引締めへの動きは、先行き不透明感を増大させました。

このような状況のもと、当社は収益の維持拡大のため、安全に配慮しながら、事業環境の変化に迅速に対応しつつ、需要が旺盛な市場への積極的なビジネス展開を進めました。

製品の販売状況につきましては、在宅関連ビジネスや自動車業界の需要に旺盛な動きがみられる一方、世界的な半導体不足の長期化の影響を受けるなど厳しい状況もみられました。加えて、原油・エネルギー価格の高騰に対する販売価格への転嫁を進め収益の確保に努めました。

なお、当事業年度は、投資有価証券売却益1億9千8百万円および2021年4月1日に吸収合併した100%子会社有限会社ユーエヌケー工業の抱合せ株式消滅差益4千5百万円を特別利益として計上いたしました。また、繊維事業における減損損失6億6千2百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は128億4千万円（前

事業年度比4.2%増)、経常利益が5億6千7百万円(前事業年度比8.2%減)、当期純利益は1億4千2百万円(前事業年度比68.8%減)と増収減益となりました。

【電子・情報材料部門】

当部門の売上高は46億6千1百万円(前事業年度比2.6%増)となりました。

光通信ケーブル用資材「コンポーズテンションメンバー」、光通信ケーブル用識別バンドルテープ「識別糸」は、海外需要が好調に推移し、売上高は前事業年度を大きく上回りました。

一方で、光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」の売上高はスロットレスケーブルへの移行が進み前事業年度並みとなりました。

高純度シリカ微粒子「ハイプレシカ」は、車載用途が半導体不足による自動車の生産台数減少の影響を受け減販となりましたが、巣籠り需要の継続で電子材料向けギャップ材用途は好調に推移し、売上高は前事業年度を大きく上回りました。

フレキシブル銅張積層板「ユピセルN」は、スマートフォンの大型案件の販売が減少したことにより、売上高は前事業年度を大きく下回りました。

高機能チューブは、主用途である産業機械向けの販売が好調に推移し、売上高は前事業年度を大きく上回りました。

【機能樹脂製品部門】

当部門の売上高は20億6千2百万円（前事業年度比6.9%減）となりました。

FRP製品は、農業分野、水産分野ともに、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、外食産業不振や、生産者の資材購買意欲の減退など販売の減少があったものの、家庭菜園向けや造林事業向けの販売が好調となり、売上高は前事業年度並となりました。

中空構造フィルム「サニーコート」は、農業フィルム用途において、重油高騰による省エネ機運の高まりや燃油高騰対策事業の実施により好調に推移し、売上高は前事業年度を大きく上回りました。

漁業用ロープ原糸「ダンライン」は、当事業年度をもって販売を終了しました。

【繊維・産業資材部門】

当部門の売上高は61億1千7百万円（前事業年度比10.0%増）となりました。

複合繊維「UCファイバー」は、衛生材料用途において紙おむつ向けの販売が中国市場における価格競争の激化などにより、販売が大きく落ち込みましたが、高強度ポリプロ繊維「シムテックス」は、環境対応自動車向けの需要は堅調であったことに加え、原材料やエネルギー価格上昇に対する販売価格への対応を進めた結果、売上高は前事業年度を上回りました。

プラスチックダンボール「ダンプレート」は、自動車向け物流資材用途の販売において、モデルチェンジ需要が旺盛であったことや物流全般が停滞の環境下におけるリターナブル資材の回収遅延に伴う需要増などを背景に売上高は前事業年度を大きく上回りました。

中空ハニカム構造板「ツインコーン」は、ベニヤ板の置換需要の取り込みを進めるなど積極的に新規用途開拓を進めましたが、昨年度の自動車分野における輸出向け物流資材の大型案件の受注が大きく減少し、売上高は前事業年度を僅かに下回りました。

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
流 動 資 産	11,104,945	10,772,709
現金及び預金	604,694	2,021,696
受取手形	868,408	777,979
売掛金	3,150,684	2,982,330
商品及び製品	1,203,408	1,159,286
仕掛品	240,968	249,168
原材料及び貯蔵品	484,485	428,556
前払費用	35,129	27,518
未収入金	46,595	68,122
預け金	4,464,076	3,050,595
その他	8,125	8,992
貸倒引当金	△1,632	△1,537
固 定 資 産	5,980,024	6,631,496
有形固定資産	3,824,330	4,505,786
建物	1,038,938	1,136,216
構築物	73,267	112,577
機械及び装置	1,046,434	1,290,584
車輛運搬具	4,385	634
工具、器具及び備品	107,853	178,395
土地	1,453,218	1,453,218
リース資産	773	2,730
建設仮勘定	99,459	331,429
無形固定資産	74,066	42,120
ソフトウェア	67,418	35,473
電話加入権	6,647	6,647
投資その他の資産	2,081,627	2,083,589
投資有価証券	46,180	256,080
関係会社株式	30,000	40,000
関係会社出資金	824,517	824,517
長期貸付金	374	782
長期前払費用	4,201	10,047
繰延税金資産	1,114,932	899,945
敷金及び保証金	55,267	46,063
その他	6,152	6,152
資 産 合 計	17,084,969	17,404,205

(単位：千円)

負債の部		
科目	当期 (2022年3月31日現在)	前期 (2021年3月31日現在)
流動負債	3,214,326	3,034,597
買掛金	1,966,333	1,726,738
リース債務	835	2,113
未払金	640,521	657,100
未払費用	177,293	128,206
未払法人税等	94,694	167,470
未払消費税	79,481	109,344
預り金	29,640	25,288
賞与引当金	219,894	214,195
その他	5,631	4,139
固定負債	2,382,915	2,538,102
リース債務	—	835
退職給付引当金	2,034,522	2,150,764
役員退職慰労引当金	25,161	33,441
資産除去債務	44,014	43,028
長期預り保証金	279,217	310,033
負債合計	5,597,242	5,572,699
純資産の部		
株主資本	11,475,143	11,698,862
資本金	2,492,500	2,492,500
資本剰余金	1,725,000	1,725,000
資本準備金	1,725,000	1,725,000
利益剰余金	7,257,643	7,481,362
利益準備金	368,088	368,088
その他利益剰余金	6,889,555	7,113,274
固定資産圧縮積立金	5,088	11,172
別途積立金	3,500,000	3,500,000
繰越利益剰余金	3,384,466	3,602,101
評価・換算差額等	12,583	132,643
その他有価証券評価差額金	12,583	132,643
純資産合計	11,487,727	11,831,505
負債・純資産合計	17,084,969	17,404,205

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	前 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売 上 高	12,840,932	12,320,704
売 上 原 価	9,696,000	9,203,782
売 上 総 利 益	3,144,931	3,116,921
販売費及び一般管理費	2,551,231	2,546,842
営 業 利 益	593,699	570,079
営 業 外 収 益	69,064	91,318
受取利息及び配当金	22,707	53,183
その他の営業外収益	46,356	38,135
営 業 外 費 用	95,366	43,279
固定資産処分損	78,515	3,803
災害による損失	10,865	15,811
支 払 利 息	5	18
その他の営業外費用	5,980	23,646
経 常 利 益	567,397	618,118
特 別 利 益	243,624	—
投資有価証券売却益	198,140	—
抱合せ株式消滅差益	45,484	—
特 別 損 失	662,574	—
減 損 損 失	662,574	—
税引前当期純利益	148,447	618,118
法人税、住民税及び事業税	167,508	193,399
法人税等調整額	△161,777	△33,214
当 期 純 利 益	142,716	457,933

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
			固定資産 圧縮積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金	
2021年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	11,172	3,500,000	3,602,101
事業年度中の変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩				△6,084		6,084
剰余金の配当						△366,435
当期純利益						142,716
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計				△6,084		△217,634
2022年3月31日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	5,088	3,500,000	3,384,466

(単位：千円)

	株 主 資 本			評価・換算 差 額 等	純資産合計
	利益剰余金	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		
	利益剰余金合計				
2021年4月1日残高	7,481,362	11,698,862	132,643	11,831,505	
事業年度中の変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩					
剰余金の配当	△366,435	△366,435		△366,435	
当期純利益	142,716	142,716		142,716	
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)			△120,059	△120,059	
事業年度中の変動額合計	△223,719	△223,719	△120,059	△343,778	
2022年3月31日残高	7,257,643	11,475,143	12,583	11,487,727	

会社の概況 (2022年3月31日現在)

■商 号 宇部エクシモ株式会社

■設 立 1966年2月22日

■資 本 金 24億9,250万円

■発行済株式総数 25,150千株

■主要な事業内容

電子・情報材 部 門	ハイプレシカ (液晶ディスプレイ用スペーサー) ユピセルN (フレキシブル銅張積層板) ユピセルC (ポリイミド・ステンレス積層材) エクシラムL (液晶ポリマー基材) ラセンコンポーズ (光通信ケーブル用資材) コンポーズテンションメンバー (光通信 ケーブル用資材) 識別糸 (光通信ケーブル用識別バンドルテープ) 高機能チューブ (産業機械用等各種チューブ) フィルター (エアフィルター) その他情報材料、電子材料の製造、加工、販売
機能樹脂製 品 部 門	ダンポール (農業用FRP支柱) コンポーズパイプ (水産用FRP支柱) コンポーズバタ・足場材 (建築・仮設資 材用FRPパイプ) サニーコート (中空構造フィルム) その他機能樹脂製品の製造、加工、販売
繊維・産業資 材 部 門	UCファイバー (紙おむつ等衛生材料用複合繊維) シムテックス (電池セパレーター用繊維、 コンクリート剥落防止用メッシュ) ポリプロ繊維 (カーペット・フィルター用原糸) エアリモ (極細複合繊維) ダンプレート (プラスチックダンボール) ツインコーン (中空ハニカム構造板) その他機能繊維製品、産業資材の製造、 加工、販売

■事業所

本社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目10番8号
営業所 名古屋営業所（名古屋市東区）
福岡営業所（福岡市中央区）
工場 岐阜工場（岐阜県岐阜市）
福島工場（福島県郡山市）
研究所 中央研究所（岐阜県岐阜市）
先端繊維研究所（福島県郡山市）

■従業員数 361名

■ホームページアドレス <https://www.ube-exsymo.co.jp>

役員（2022年6月20日現在）

代表取締役社長	古賀源二	※社長執行役員	古賀源二
取締役	石井徳	※常務執行役員	石井徳
取締役	仲山典宏	※常務執行役員	仲山典宏
取締役	新保俊彦	執行役員	安村守人
常勤監査役	内藤憲一	執行役員	高田隆久
監査役	石川博隆	執行役員	関谷博
		執行役員	多田厚美
		執行役員	福島克彦

（注）※は取締役との兼務を示しています。